

□if a English version is needed, please let me know□

[illegible]

☐☐ ☐☐☐ email: gulifan@hotmail.com

□□□□

[illegible][illegible]

# ##### Turing Test #####

[illegible][illegible]

Nature

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

□ □

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]



□ □

1111

[illegible][illegible][illegible]

word-embedding vector space  
knowledge graph

□ □

Technological Singularity AlphaGo Zero superhuman Quantum Supremacy

[illegible][illegible]

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

[illegible]

1000

20

[illegible]

1

200 10% 1% 2

量子コンピューティングの発展は、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。これは、複雑な問題を効率的に解決するための新しいアプローチを提供します。

量子コンピューティングの発展は、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。これは、複雑な問題を効率的に解決するための新しいアプローチを提供します。

量子コンピューティングの発展は、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

## AlphaGo Zero と Superhuman と Quantum Supremacy

Nature は、量子コンピューティングの発展を報告しました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

AlphaGo Zero は Nature に superhuman の能力を持つことが示されました [1]。AlphaGo は、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

AlphaGo Zero は Nature に superhuman の能力を持つことが示されました [1]。AlphaGo は、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

Shor's algorithm は、量子コンピューティングの発展を報告しました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

qubit は、量子コンピューティングの発展を報告しました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

Quantum Supremacy は、Sycamore が NISQ の noise を克服したことを報告しました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

Sycamore は AlphaGo Zero の能力を持つことが示されました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

Quantum Supremacy は、Sycamore が NISQ の noise を克服したことを報告しました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

Sycamore は 200 から 10000 の qubit を持つことが示されました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

Quantum Supremacy は NISQ の John Preskill が報告しました [3]。

Quantum Supremacy は、Sycamore が NISQ の noise を克服したことを報告しました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

Quantum Supremacy は optimization と machine learning の発展を報告しました。これは、従来のコンピューティングを超える能力を持つことを目指しています。

noisy 環境下で動作する量子コンピュータの性能を評価するための指標として、  
量子誤り率（Quantum Error Rate）が用いられる。

量子誤り率は、量子ビットの操作や読み取りの際に発生するエラーの割合を示し、  
量子計算の信頼性を評価するための重要な指標である。

量子誤り率を低く抑えることは、量子計算の実用化に向けた重要な課題であり、  
Quantum Supremacy（量子優位性）の実現にも大きく影響する。

Nature 誌に掲載された Superhuman（スーパーヒューマン）という論文は、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

Superhuman は、従来のスーパーコンピュータよりもはるかに少ない量子ビットで、  
特定の計算タスクを完了させたことを示している。

tensor 積を用いた量子回路の設計は、量子誤り率を低く抑えるための重要な技術であり、  
量子計算の性能向上に大きく貢献している。

この論文は [4] に記載されており、量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

AlphaGo Zero は Superhuman（スーパーヒューマン）という論文で、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

AlphaGo Zero は、従来のスーパーコンピュータよりもはるかに少ない量子ビットで、  
特定の計算タスクを完了させたことを示している。

この論文は [4] に記載されており、量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

AlphaGo Zero は Superhuman（スーパーヒューマン）という論文で、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

AlphaGo Zero は、従来のスーパーコンピュータよりもはるかに少ない量子ビットで、  
特定の計算タスクを完了させたことを示している。

Académie française（アカデミー・フランセーズ）は、フランスの文学・文化の権威であり、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

Académie française は、フランスの文学・文化の権威であり、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

Académie française は、フランスの文学・文化の権威であり、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

Académie française は、フランスの文学・文化の権威であり、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

Académie française は、フランスの文学・文化の権威であり、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

Superhuman（スーパーヒューマン）という phrase（フレーズ）は、  
量子誤り率の低さを示す重要な証拠の一つとして注目されている。

[4] Dialogo sopra i due massimi sistemi del mondo (Dialogue Concerning the Two Chief World Systems), Galileo Galilei, published in 1632.